

企業と個人が共に成長するための
キャリアデザイン研修

【オリエンテーション】

「本日の研修はキャリアデザイン研修です。キャリアデザインというと皆さん、どのようなイメージをお持ちですか？過去をみつめて自分自身の棚卸を行い、自分のやりたいことや希望を洗い出し、それをキャリアにおいてどう実現していくかプランニングする、という感じでしょうか。

まさにその通りですが、本日の研修では、意味のあるキャリアデザインにつなげるために大事な視点を確認しながら進めて参ります。次の目的を確認ください」

企業と個人が共に成長するためのキャリアデザイン研修 概要

【研修目的】 視点を広げることで企業と個人が共に成長するキャリアデザインのスタート準備を行う

1. 視点を広げることで意味あるキャリアデザインにするためのポイントを確認する
2. 適切なキャリアデザインにつなげるための自己認知
3. 企業視点もふまえたキャリアデザインにつなげるための整理

	概要	狙い
1	<ul style="list-style-type: none"> ◆オリエンテーション ◆キャリアデザインとは 【視点の拡大】 ◆1. 周囲の視点で考える (個人ワーク、グループ共有、全体共有) ◆2. 未来の視点で考える(個人ワーク、グループワーク、共有) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆意味のあるキャリアデザインを行うために、普段考えない視点から物事を考えることで、気付きをえながら視点・視座を引き上げる ◆世の中の動向、会社の動向を確認・想定することで、キャリアデザインが現実からかけ離れることを防ぐ
2コマ目	<ul style="list-style-type: none"> 【自己認知】 ◆棚卸参考資料案内 ◆棚卸(個人ワーク) ・経歴・知識・スキル、実績、成果 ・価値観 	<ul style="list-style-type: none"> ◆これまでのキャリアを棚卸することで、今後目指すところ、必要なものを明確にするための準備を行う
3コマ目	<ul style="list-style-type: none"> 【求められる要素】 ◆職務に求められる要素を考える ・実務知識・実務スキル、ビジネスパーソンに求められる要素 ・職務に必要なと判断した理由 ・習得・体現するための取り組み (個人ワーク、グループ共有、全体共有) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分よがりになりがちなキャリアデザインを社会、会社と結びつけた企業・個人双方にとって意味あるものにする
4コマ目	<ul style="list-style-type: none"> 【キャリアデザイン】 ◆キャリアデザインシート作成 ・1年後、3年後のビジョン、アクション(個人ワーク) ◆ブラッシュアップ(グループ共有、承認、相互アドバイス) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆求められる要素をふまえて、キャリアデザインを実際に行ってみることで、気付きを得るとともに中長期に向けた取り組みや活動の動機づけにつなげる ◆現在の環境の中で何ができるかを意識することで日々の仕事に対する意欲につなげる ◆立てたキャリアデザインを共有し、アドバイスし合うことで、ヒントや行動促進につなげる

2

【目的の共有と概要案内】

1. 目的共有

キャリアデザインは一度立てたらうまくいくというものではなく、定期的な振り返り、修正、追加を行っていくことで初めて効果が出るものとなります。本日は、実際にキャリアプランを立ててみますが、どのような視点がキャリアデザインには必要なのか理解すること、また、企業と個人が共に成長するキャリアデザインを今後行っていくための準備を行うことが今日の目的です。

大きく3つのテーマ、「視点の拡大」「自己認知」「求められる要素の確認」を行った上で、最後にキャリアデザインの実践となります。

普段、仕事で忙しくてじっくり自分のキャリアや未来を考える時間を持つことは難しいと思います。ですので、これからの時間を研修時間として消化するのではなく、自分のために色々考えながら有効に使っていただけると幸いです。

キャリアデザインとは

■ キャリア

「キャリア」とは、

出典:

■ キャリアデザイン

【行う意義】 先を見据える事で

- ・
 - ・
 - ・
- 。(自己認知・他人の支援) できる。

【どんな事を考える?】

- ・職域をあげる(どこまで?)
 - ・仕事の幅・深さを広げる(何を?どのように?どこまで?)
 - ・
 - ・
 - ・
- ・職種をかえる(何に?可能なのか?)
- ・部下の育成 ()
- ?

3

【キャリアとは】

1. キャリアとは

「まず、言葉の定義を確認しておきましょう。

指してもいます」

2. キャリアデザインとは

「キャリアデザインはなぜ行うのでしょうか。意義としてよく紹介される事例に『
』があります。

< >
「

」

つまり、将来どうしたいかを見据えておくことで目の前に来た偶然やチャンスをも自分のものにすることができる、ということです。記載しているとおりに、自分が目指す先が明確になっていることで、一日一日の過ごし方や価値が変わってくるということです。

3. キャリアデザインでどんなことを考えるか紹介

視点の拡大:周囲の視点

■ ワーク1:周囲の視点で考える

1. 自社は世の中からどのように思われている?
(お客様) (未取引/社会)
2. 理由
3. 理由
4. いるか

4

【周囲の視点:ワーク1】

1. ワーク案内

「では、ワークシートの1ページを出してください。まずは周囲の視点で考えてみます。1~4の設問がありますので、それぞれ考えて記入をお願いします」

個人ワーク → グループ共有 → 全体

※グループ共有時にラウンドしながら、いい意見をピックアップ。全体発表でその意見が出なければ講師から紹介)

2. 全体共有及び講師からのフィードバック

「
という視点が大切です」

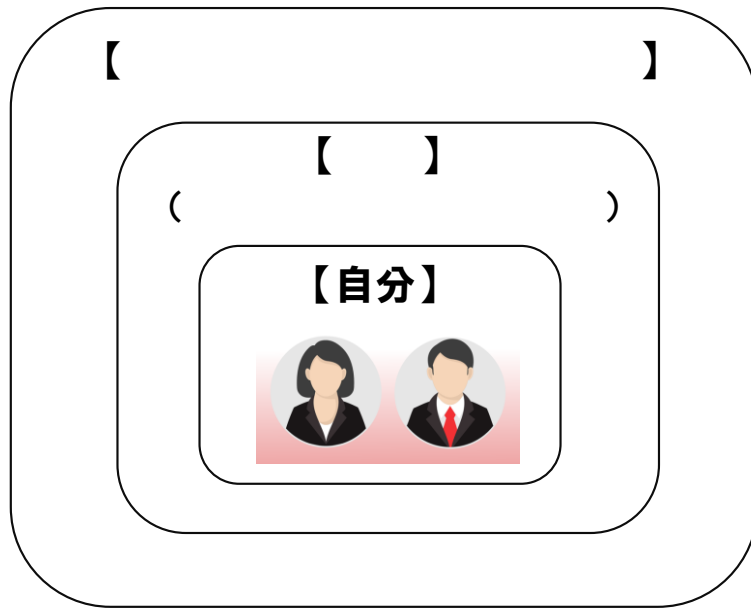
「理由は、いかがでしょう

自身の考え方次第で変わってきます」

「どの設問も、普段、あまり意識することのない視点だと思いますが、自分の存在意義、自社の存在意義を認識できていると、日常の業務に対する取り組みにも身が入ります」

視点の拡大:周囲の視点

■ 視点1:自身と周囲



5

【周囲の視点】

1. 解説

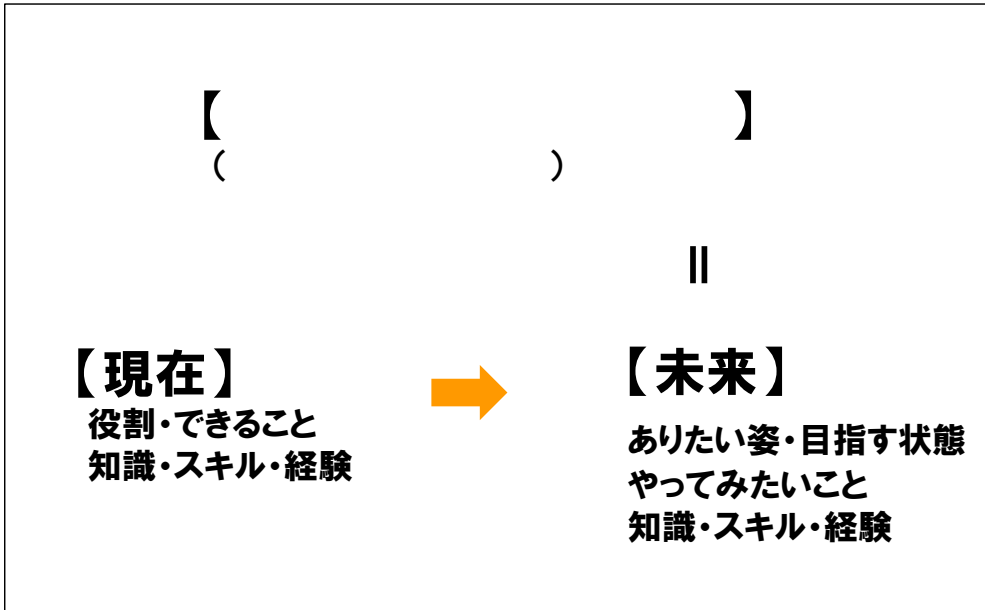
「今のワークは、この視点を確認頂きました。」

視点を持っておくようにしましょう」

という

視点の拡大:未来の視点

■ 視点2:キャリアデザインを行う際の大事な視点



6

【未来の視点】

1. 解説

「続いて未来の視点です。テキストに戻ります。キャリアデザインを行う際の大事な視点があります。現在の自分、未来に自分がありたい姿や目指す状態をふまえて考えていくわけですが

からです。「」は技術の進化や時代の流れによつてどんどん変わっていきます」

<事例紹介>

事務処理の推移 手書き ⇒ ワープロ ⇒ パソコン ⇒ タブレット

クリエイティブな仕事(イラスト、動画制作、モノ書き)
⇒ 生成AIやChatGPTの出現で、仕事が減少する、失う?

大昔の話ではありません。

を念頭においてキャリアを考えていく必要があるということです」

視点の拡大:未来の視点

■ ワーク2: 未来の世の中と組織から考える

1. 5年後の社会(歳)	10年後の社会(歳)
2.	目指す状態、あるべき姿
3.	必要になる?
4.	いきたい

7

【未来の視点:ワーク2】

「では、考えてみましょう。まずワークの全体像と流れを先に説明します。未来の出来事を確認し、それをふまえて

。個人ワーク、グループ共有、全体共有の流れで進めます」

1. 設問1の案内

「まず、未来の出来事について確認します。
。5年後、10年後がどうなっているのかについて、想像するのは限界があるので、ツールを紹介します」

→ 次のスライド共有

求められる要素

■ 求められる要素の整理 ワークの流れ

1. 目指す職務ごとのグループに分かれる

【営業】【マーケティング】【販売】【生産管理】…

2. 職務に求められる要素の洗い出し(ワーク4)

個人ワーク

3. 職務に求められる要素の体系化(ワーク5)

グループワーク

4. 各グループから発表

8

【求められる要素:ワーク】

1. ワークの全体像と流れ案内

「ワークの全体像と流れをお伝えします。ワーク毎に都度、案内するので全体の流れだけつかんでいただければ大丈夫です。まず、目指す職務ごとにグループに分かれていただきます。

それぞれのアウトプットを全体の前で発表という流れです」

2. グループ移動

「では、まず目指す職務に移動しましょう。今と変更がない場合は、同じ職務のところに移動で構いません。もちろん、会社組織なので希望したら確実に異動できるということではありませんが、キャリアデザインという作業において、今後自分が目指すのはどこか、そのためにどんなことが必要なのかを考えるという観点での取り組みです」